

全国就業支援ネットワーク ご案内

○全国就業支援ネットワークの目指すもの（趣旨）

一般的には人は、「働くこと」や「社会活動」を通じて自らの生活基盤を築き、地域社会の一員として人生の質を高めていきます。しかし、障害のある方の就労に向かう環境は、決してあたりまえではなく、どこの地域においても障害のある方があたりまえに「働く」地域環境、仕組みづくりは充分とはいえません。それには障害のある方が主体的に職業教育、職業訓練、能力開発に参画できる環境整備が必要です。さらに教育、保健、福祉、労働機関の連携のある地域環境づくりとそれを担える人材が必要です。

このことから全国就業支援ネットワークは、「地域で」「連携して」「実践に基づいて」「政策に関与して」を理念とし、障害者職業能力開発施設部会、就労移行支援事業所部会、障害者就業・生活支援センター部会の三部会を中心に活動をしています。

○全国就業支援ネットワークの成り立ち

1993年に結成された「能力開発施設連絡協議会」有志によって、1998年～2000年に「知的障害者を対象とした能力開発向上マニュアル作成に関する研究調査」を実施しました。その成果を共有するために『全国障害者能力開発施設等連絡協議会』と『あっせん型雇用支援センター連絡協議会』が「全国就業支援ネットワーク」を結成しました。2000年に調査研究報告会を開催以降「定例研究・研修会」として定期的に研修会を開催しています。2001年の省庁再編を前に双方の利点を活かす方策とされた地域主体の就労支援施策である「あっせん型雇用支援センター（後の就業・生活支援センター）」の実践的な受け皿となり、具体的な提言を行うようになりました。2007年にNPO法人化し、現在260団体等で構成しています。

○主な活動内容

- ・ 定例研究・研修会の開催
- ・ 障害者職業能力開発施設連絡会の開催
- ・ 就労移行支援の在り方を学ぶ研修会の開催
- ・ 就業生活支援基礎講座の開催
- ・ 障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための全国フォーラムの開催
- ・ 訪問型職場適応援助者養成研修の実施
- ・ 地域における就業支援ネットワーク形成事業の実施

○役員（令和3年現在）

代表理事	酒井 京子
理事	金塚たかし、藤尾健二、鈴木康弘、林弥生、野口弘行、野路和之、牧千秋
監事	清水 望、城貴志